

てん校

千両小・2 大井 よう

ぼくが一年生のとき、学校から帰ってきて、おにいちちゃんたちが
みんないるとき、おかあさんが、

「てん校することがきまったよ。ちぎり小学校だよ。」

みんなだまってしまいました。ぼくは、いやだな、ともだちとわか
れちゃうんだ。ほいくえんからの友だちもたくさんいたし、小学生
になってからなかくなった友だちもたくさんいるからなあ、と心
配になりました。ぼくは、ふあんな気もちが、だんだん大きくなっ
てきたので、おにいちちゃんにきいてみました。

「ねえ、友だちできなかったらどうしよう。」

すると、おにいちちゃんは、

「すぐできるよ。もし、できなかって、おれたちきょうだい四人
いるから、しんばいすることはない。大じょうぶだよ。」

と、えがおで言ってくれました。ぼくは、心のもやもやしているの
が、すうつととれて、なんだかすごく心強い気もちになりました。

いよいよ入学しき、しぎょうしきの日がきました。おにいちちゃん
たちにくら大じょうぶだと言われても、なんとなくいやな気きも
がしました。

しきがはじまりました。てん校生として、ぼくたちがしょうかい
されました。ちぎり小学校の人たちがいる前に立って、じこしょう
かいです。ぼくは、きんちょうと、はずかしい気もちで、足はぶる

ぶる、むねはどきどきで前を見ることもできませんでした。おにい
ちゃんたちが先に大きな声で、名前と学年を言っていきました。つ
ぎは、ぼくの番です。きゆうにあたまの中がまっ白になっちゃった
けど、ゆう気を出して、

「大井ようです。二年生です。」

と、せいっぱいの大きな声で言いました。すると、ちぎり小学校
のお友だちみんなからとつても大きなはく手をもらいました。とて
もうれしかったです。

てん校して思ったことは、ちぎり小学校のみんなは、とてもやさ
しいです。

朝、学校にきて、何をしたらいいのかわからなくてこまっている
とき、

「ようくん、どうしたの。」

と聞いてくれました。本をえらんで読んだり、外でゆうぐにのって
あそんだり、いろんなとくべつ教室をあんないしてくれました。今
では、なかのいい友だちがたくさんできました。

てん校したその日から、家に帰ると、

「ようくん、あそぼ。」

と、ぼくの家に来てくれました。ぼくは、とび上がるほどうれしく
て、

「いいよ。あそぼ。」

と言って、あそびました。

学校の休み時間は、外でゆうぐであそんだり、ぼくの大すきなサ
ッカーをしたりしてあそんでいます。

今でも学校がおわって家にいると、

「ピンポン。」

友だちがきます。しゅくだいをおわらせてから、友だちと自てん車にのって出かけます。ぼくの知らない場所につれていってくれます。毎日がとても楽しいです。

ひっこししてくる前は、ものすごくふあんだったけど、ちぎり小学校へきて、あたらしい友だちがたくさんできました。大すきなおにいちやんたちと、ちぎり小学校の友だちといっしょにあそんだり、いっしょにべんきょうしたりして、毎日生活していきたいです。